

「いのち」輝くまちに

「男女共同参画社会」をつくる

男女が性別にかかわらず、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀のわが国社会のあり方を決定する最重要課題の一つです。

兵庫県でも、平成13年3月に「ひょうご男女共同参画プラン21」を策定。平成14年4月には「男女共同参画社会づくり条例」を施行し、プラン及び条例に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて各種施策を展開しています。

朝来市では、男女共同参画社会づくりに向けての計画策定を早期に行うため、庁内に男女共同参画推進本部、プロジェクト・チームを設置し、検討を進めています。一方、女性の感性と意見を市政や地域づくりに活かすための機会づくりの場として「朝来市女性100人委員会」を設置しました。また、市の各種審議会等委員へ積極的に女性を登用するなどの取り組みを展開しており、今後、市政の各分野において男女共同参画社会実現に向けた取り組みを展開していきたいと考えています。

男女共同参画社会実現に向けて施策としての充実を図りつつ、市民の皆様の身近な取り組みをお願いしたいものです。

まず、私たちは毎日の日常生活の中での意識変革、生活行動の見直しをしていきましょう。「男性だから」「女性だから」と言う前に人間として、それぞれの個性や能力を生かし、仕事を分担してお互いが協力し合っ生活する家庭や職場や地域をつくらなければなりません。女性と男性が対等なパートナーとして、協働していく実践体制をつくっていくことが大切です。

ともすると、今までの男性中心社会の中でつくられてきた既成概念がぬぐいきれないのが現実です。「男のくせに」「女のくせに」というものの見方に潜んでいる問題をお互い見直してみることが大切でしょう。

このコーナーは、人権文化のあふれるまちづくりのため、「いのち」輝くまちづくりのため、市民の皆さんに問題提起や資料提供をします。

ご愛読いただき、ご家庭や街角の話題にしていただければ幸いです。

◆人権推進共同参画課 TEL 672 - 6122

あさごふれあいプール「くじら」 「人間サイズのまちづくり賞」受賞

兵庫県が「安全、安心なまちづくり」「魅力あるまちづくり」に寄与する優れた建築物や、活動を表彰する「第7回人間サイズのまちづくり賞」の受賞対象が決まり、あさごふれあいプール「くじら」が建築部門に選ばれました。

「くじら」は、昨年オープンした木造の温水プールです。木材に地域産材をふんだんに使っていることや、緩やかなカーブ屋根をはじめとする外観が、まちなみに配慮したデザインであること、温水や空調に地熱を利用した地球温暖化防止への取り組みが評価され、今回の受賞となりました。



「災害時応急対策業務に関する協定」締結

朝来市と朝来市建設業協会（衣川義弘会長 66社）は2月14日（火）、「災害時応急対策業務に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害時に土砂崩れや建築物の崩壊などに伴い、緊急人命救助、道路交通確保のための障害物除去作業などが必要となった場合、協会が市の要請に応じて障害物除去や建設資材の提供を行うものです。

従来、市は個々の業者に手配していましたが、この協定により、協会を通じて手配することで、より迅速な対応が可能となります。



2月14日、同協定書の調印式が行われました。